

事務所名	ケンリハスポーツキッズ・ユース	支援プログラム	作成日	R6	年	9	月	30	日
法人理念	スポーツを通じて社会適応能力の向上を目指す								
支援方針	一、人と人を繋げて関わりを深めるプログラムを行う 一、子ども達それぞれの長期目標の視点で療育を行う 一、楽しさを追求し再び行きたくなる療育を目指す 一、運動が苦手な子どもたちも運動が好きになることを目指す 一、様々な子ども達の居場所となるよう努める								
営業時間		9時00分	から	18時00分	まで	送迎実施の有無	あり なし ※一部地域を除く		

時間	プログラム	支援内容 (5領域)	
本人支援	15:30~	準備・自由時間	来所時の身支度を自立して取り組めるよう支援しております。お子様の特性に配慮して、来所から身支度までの流れを番号で示し、わかりやすく構造化しています。
	15:45~	始まりの会	見通しをもってお子様が安心して活動に取り組めるように、視覚的支援を用いて情報を適切に処理できるように支援しています。
	16:00~	準備体操	立ち位置や子ども同士の距離感を適切に保って模倣体操を行います。視覚、聴覚、固有覚等、保有する感覚を統合的に活用することで脳の成長を促し、身体機能だけでなく集中力、持続力の強化、コミュニケーション能力の向上を支援します
	16:05~	バランス運動	運動・動作の基本的技能の向上だけでなく、ペアで行う運動と全体運動を段階を集団レベルに合わせて行い、ルールや順番を理解し、社会性、対人関係の芽生えを支援しています。
	16:15~	チャレンジタイム	園や学校で行う運動（鉄棒、跳び箱、縄跳びetc..）を通じて姿勢保持、上肢、下肢の運動した動きの改善及び習得を目指します。そして子供が持つ挑戦する気持ちを育み、園や学校でも自信をもって活動できるように支援しています
	16:30~	勉強	微細運動を取り入れ、主に生活に必要な基本的技能の獲得ができるように支援しています。
	16:45~	サーキット	毎月変わるコースにルール順番を守って、お子様同士で協力したり競争をしながらゴールを目指します。仲間意識、協力意識、競争意識を育む支援をしています
	17:00~	終わりの会	挨拶をして退所時の身支度を自立して取り組めるよう支援しております。
家族支援	本人のコミュニケーションや判断する仕草等を、個別支援の場面の観察や面談の機会などを通じてお伝えし、共有する	移行支援	必要に応じて園を訪問し、行事や普段と異なる活動の際の子どもとの関わりについて具体的な関わり方のモデルを示す。
地域支援・地域連携	関係機関で役割を分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具策を提案する	職員の質の向上	入社時により弊社研修プログラムに沿って自己成長を図る研修を行っております
主な行事等	年に3~4回四季を感じられるイベントを実施しております。		